

教育委員会

学校教育部

- 1 基本理念 夢を育て、人をはぐくむ学びのまち さんだ
- 2 めざす子ども像 自分が好き、人が好き、このまちが好き、
夢に向かって歩むさんだっ子
- 3 基本目標
 - (1) 「生きる力」を育む教育を推進します
 - (2) 魅力ある学校をつくり、家庭・地域と共に子どもの学びを支援します
 - (3) 学びを支える環境を整備します
- 4 施策の内容
 - (1) 「確かな学力」の育成
 - ア 子どもの可能性を拓く資質・能力の育成
 - イ 育ちと学びをつなぐ教育
 - (2) 「豊かな心」の育成
 - ア 道徳性を育む教育
 - イ 「共生」の心を育む教育
 - (3) 「健やかな体」の育成
 - ア 体力・運動能力の向上
 - イ 食育・健康教育
 - ウ 安全・防災教育
 - (4) 一人一人が大切にされる教育の充実
 - ア 特別支援教育
 - イ 生徒指導・相談体制の充実
 - ウ 保護者の経済的負担の軽減
 - (5) 社会的自立に向けた教育の推進
 - ア キャリア形成と自己実現を図る教育
 - イ グローバル化に対応した教育
 - (6) 幼児期の教育の充実
 - ア 生きる力の基礎を育む教育
 - (7) 信頼される学校づくりの推進
 - ア 学校組織力の向上
 - イ 教職員の資質・指導力の向上
 - ウ 教職員の働き方改革
 - (8) 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり
 - ア 学校・家庭・地域の連携と協働
 - イ 家庭・地域の教育支援

(9) 子どもと大人の「学び」が循環する関係づくり

ア 学習成果を活かす仕組みづくり

イ 多様な学習機会の創出

(10) 学びを支える環境の整備

ア 学校の再編

イ 安全安心で充実した環境の整備

教育総務課

1 教育委員会

(1) 開催状況 (令和5年4月～令和6年3月)

定例会 12回 臨時会 1回 協議会 9回

(2) 議案の提出状況 30件 (予算・条例・規則・その他)

(3) 規則および告示

区分	規則・規程	告示	訓令
件数	8件	15件	2件

2 メールカー運行業務

教育委員会事務局と学校その他教育機関と文書等の集配業務を実施している。

(1) 運行箇所

ア 教育委員会事務局と市内公立小学校、中学校、幼稚園、保育所及びその他教育機関 (計44箇所) 間の運行 (令和元年度から直営運行)

イ 教育委員会事務局と阪神教育事務所 (1箇所) 間の運行 (委託)

(2) 運行回数 (上記ア、イとも)

毎週月曜日から金曜日まで1日1回週5回運行

但し、祝日、8月13日～15日及び12月29日～1月3日は除く。

3 学校管理運営費の執行状況 (人件費を含み施設工事・営繕を除く)

区分	決算額 (千円)		摘要
小学校20校	496,639	256,490	管理費 (消耗品、光熱水費、教材備品、図書費等)
		240,149	人件費 (報酬、職員手当等、共済費、旅費)
中学校8校	179,900	115,992	管理費 (消耗品、光熱水費、教材備品、図書費等)
		63,908	人件費 (報酬、職員手当等、共済費、旅費)
特別支援学校1校	31,443	7,027	管理費 (消耗品、光熱水費等、教材備品、図書費等)

		24,416	人件費（報酬、職員手当等、共済費、旅費）
--	--	--------	----------------------

4 市費負担職員に関すること

(1) 職員数（令和5年5月1日現在）（単位：人）

区 分	正規職員	再任用職員	任期付職員	会計年度任用職員	合 計
事務局・教育機関	59	3	1	86	149
小・中・特別支援学校	1	5	1	147	154
合 計	60	8	2	233	303

5 県費負担教職員に関すること

(1) 職員数（令和5年4月9日現在）

ア 小学校

（単位：人）

学 校 名	教 職 員 数	学 校 名	教 職 員 数
三 田 小 学 校	37	松 が 丘 小 学 校	14
三 輪 小 学 校	26	す ず かけ 台 小 学 校	23
志 手 原 小 学 校	13	狭 間 小 学 校	15
藍 小 学 校	13	富 士 小 学 校	22
本 庄 小 学 校	11	あ か し あ 台 小 学 校	32
広 野 小 学 校	15	弥 生 小 学 校	13
小 野 小 学 校	12	つ つ じ が 丘 小 学 校	14
高 平 小 学 校	13	け や き 台 小 学 校	38
母 子 小 学 校	9	学 園 小 学 校	16
武 庫 小 学 校	30	ゆ り の き 台 小 学 校	55
		小 学 校 合 計	421

イ 中学校

（単位：人）

学 校 名	教 職 員 数	学 校 名	教 職 員 数
長 坂 中 学 校	15	け や き 台 中 学 校	35
上 野 台 中 学 校	15	富 士 中 学 校	23
狭 間 中 学 校	29	藍 中 学 校	20
八 景 中 学 校	36	ゆ り の き 台 中 学 校	43
		中 学 校 合 計	216

ウ 特別支援学校

（単位：人）

学 校 名	教 職 員 数		教 職 員 数
ひまわり特別支援学校	27	特別支援学校合計	27

6 学校施設等の概要

(1) 敷地及び校舎の面積（令和6年4月1日現在）

ア 小学校

（単位：㎡）

校 園 名	敷 地 面 積 (㎡)	校 舎 面 積 (㎡)		
		鉄 筋 鉄 骨	木 造	計
三 田 小 学 校	16,751	6,180		6,180
三 輪 小 学 校	13,157	4,736		4,736
志 手 原 小 学 校	16,367	2,255		2,255
藍 小 学 校	18,194	2,978		2,978
本 庄 小 学 校	15,030	2,517		2,517
広 野 小 学 校	14,185	4,468		4,468
小 野 小 学 校	20,016	2,537		2,537
高 平 小 学 校	15,909	3,019		3,019
母 子 小 学 校	9,293	1,271		1,271
武 庫 小 学 校	23,006	6,123		6,123
松 が 丘 小 学 校	23,112	4,084		4,084
す ず かけ 台 小 学 校	31,902	5,819		5,819
狭 間 小 学 校	27,556	5,980		5,980
富 士 小 学 校	29,484	4,536		4,536
あ かし あ 台 小 学 校	30,655	6,418		6,418
弥 生 小 学 校	26,674	5,199		5,199
つ つ じ が 丘 小 学 校	27,620	7,721		7,721
け や き 台 小 学 校	27,728	5,988		5,988
学 園 小 学 校	22,268	758	3,455	4,213
ゆ り の き 台 小 学 校	27,840	7,143		7,143
小 学 校 合 計	436,747	89,681	3,455	93,136

イ 中学校

（単位：㎡）

校 園 名	敷 地 面 積 (㎡)	校 舎 面 積 (㎡)		
		鉄 筋 鉄 骨	木 造	計
長 坂 中 学 校	30,410	3,963		3,963
上 野 台 中 学 校	24,129	3,988		3,988
狭 間 中 学 校	30,692	6,360		6,360
八 景 中 学 校	36,660	5,953	33	5,986
け や き 台 中 学 校	29,921	6,103		6,103
富 士 中 学 校	31,403	4,538		4,538
藍 中 学 校	31,067	5,607		5,607
ゆ り の き 台 中 学 校	40,777	7,508		7,508
中 学 校 合 計	255,059	44,020	33	44,053

ウ 特別支援学校

(単位：㎡)

校 園 名	敷 地 面 積 (㎡)	校 舎 面 積 (㎡)		
		鉄筋鉄骨	木 造	計
ひまわり特別支援学校 (小学部)	—	8 4 9		8 4 9
ひまわり特別支援学校 (中・高等部)	—	1, 3 3 7		1, 3 3 7
特 別 支 援 学 校 合 計	—	2, 1 8 6		2, 1 8 6

※敷地面積は、小学部は富士小学校と、中・高等部は富士中学校と共有

(2) 屋内運動場建築面積及びプール面積

ア 小学校

(単位：㎡)

学 校 名	屋内運動場 (㎡)	プール面積 (㎡)	備 考
三 田 小 学 校	9 1 9	3 7 5	低学年プール有
三 輪 小 学 校	9 1 9	3 7 5	低学年プール有
志 手 原 小 学 校	7 9 3	3 7 5	低学年プール有
藍 小 学 校	6 8 0	3 7 5	低学年プール有
本 庄 小 学 校	7 9 2	3 7 5	低学年プール有
広 野 小 学 校	9 0 6	2 9 8	低学年プール有
小 野 小 学 校	7 9 7	2 8 4	低学年プール有
高 平 小 学 校	9 1 9	2 9 9	低学年プール有
母 子 小 学 校	7 9 4	1 8 0	低学年プール有
武 庫 小 学 校	9 3 4	3 7 5	低学年プール有
松 が 丘 小 学 校	9 1 3	3 7 5	低学年プール有
す ず かけ 台 小 学 校	8 7 7	3 7 5	低学年プール有
狭 間 小 学 校	9 2 8	3 7 5	低学年プール有
富 士 小 学 校	9 1 9	3 7 5	低学年プール有
あ か し あ 台 小 学 校	1, 0 4 9	3 7 5	低学年プール有
弥 生 小 学 校	9 5 5	3 7 5	低学年プール有
つ つ じ が 丘 小 学 校	1, 0 2 3	3 7 5	低学年プール有
け や き 台 小 学 校	1, 0 2 3	3 7 5	低学年プール有
学 園 小 学 校	9 1 9	3 7 5	低学年プール有
ゆ り の き 台 小 学 校	1, 1 8 1	3 7 5	低学年プール有
小 学 校 合 計	1 8, 2 4 0	7, 0 6 1	

イ 中学校

(単位：㎡)

学 校 名	屋内運動場 (㎡)	武道場 (㎡)	プール面積 (㎡)	備 考
長 坂 中 学 校	9 7 8	1 9 7	3 2 5	

上野台中学校	981	200	325	
狭間中学校	1,024	200	325	
八景中学校	1,034	200	325	
けやき台中学校	1,145	197	325	
富士中学校	1,222	199	325	
藍中学校	1,102	196	325	
ゆりのき台中学校	1,222	200	325	
中学校合計	8,708	1,589	2,600	

(3) 教育施設の整備状況（主なもの）（令和5年度）

事業名	概要
すずかけ台小学校エレベーター棟増築工事	エレベーター棟増築及びエレベーター設置工事
学校トイレ洋式化改修工事	市内小中学校（3小学校、1中学校）の和式便器を洋式便器に改修
学校照明設備改修工事	市内小中学校（2小学校、1中学校）の校舎・屋内運動場の照明設備改修工事

学校再編課

学校再編の取組状況

1 全般的事項

三田市立小中学校の小規模化に伴うさまざまな課題に対し、平成30年7月に「市立学校のあり方に関する基本方針」を策定し、市立小中学校の適正規模、適正配置の方向性を示した。

平成30年12月、三田市立学校再編第1次計画（上野台中・八景中、長坂中・藍中再編統合）を策定し、取り組みを始めた。令和4年度からは、中学校のみならず小学校も含め、検討対象となる学校の範囲をエリアごとに示し、全市的に検討を始めていくことを決定し、児童生徒数の今後の推計や学校の小規模化に伴う課題や望ましい教育環境等について、保護者、地域への説明や意見交換を行うなどの取り組みを進めている。

■基本方針で示す望ましい学校規模(学級数)

小学校 12～18学級

中学校 9～18学級

■再編対象となるエリアと検討の対象となる学校

	中学校	小学校
上野台、八景中学校 区内の小学校	－統合決定済－ (上野台中、八景中)	志手原小、小野小、高平小、 母子小、松が丘小
フラワータウン内の 小中学校	狭間中、富士中	武庫小、狭間小、富士小、 弥生小
長坂、藍中学校区 の小中学校	長坂中、藍中	本庄小、広野小、藍小、 つつじが丘小

2 校区ごとの取り組み状況

(1) 上野台、八景中学校

上野台中学校と八景中学校の統合について、両校の保護者、地域住民による地域協議会を設置し協議を重ねた結果、令和3年12月に統合（新設）に賛同する旨、最終まとめがあり、令和4年3月の総合教育会議で、再編に向けて進めることを正式決定している。

新設統合校の候補地については、令和4年度に庁内プロジェクトチームを設置する中で、検討を進め、令和5年度は更に専門的、客観的、技術的な観点から、検証、精査するため、外部専門機関に委託し調査を実施した。この調査を受け、候補地の最終決定に向け、関係機関と調整していく。

また、上野台中学校の小規模化の課題解消に向けた対応を検討していく。

(2) 富士、弥生小学校

令和4年6月からフラワータウン地区の4小学校、2中学校で、「学校のあり方

検討会」を設置し、保護者、地域住民と意見交換を行う中で、教育委員会として一定の整理を行った。

その結果、特に小規模化が進む、富士・弥生小学校について、その課題解消を図るため、学校再編に向けて取り組むことを同年12月の総合教育会議で決定し、令和5年2月に両校区の保護者、地域の代表等で組織する「地域協議会」を設置して協議を開始し、同年3月から5月にかけて、順次説明会(6回)を開催して、意見交換を行った。また、両校では小規模化の課題に対し、合同で行事や教育活動を実施するなど、教育内容の向上にむけた取り組みを進めている。

一方で、フラワータウンでは、当該校区の中で若年層の誘致、子育て層の移住促進など、まちの再生に向けた取り組みが進められてきており、現段階では、協議を一時中断し、その状況を見定めることとした。

(3)長坂、藍中学校区

小規模化が見られる長坂、藍中学校及び両中学校区内の小学校に着目し、取り組みを進めている。

長坂、藍中学校の再編については、地域から反対意見を中心に多くの声があり、協議の場で議論を進めることが難しいと判断し、再編計画を一旦取り下げることにした(令和元年6月)。それ以降においても、小学校も含めPTA役員等を中心に、小規模な単位で、学校の小規模化の課題について意見交換や学校長への聞き取りなどを実施している。

引き続き、意見交換を重ねる中で、それら課題の解消に向けた具体的な取り組みにつながるよう、様々な方策について、幅広く検討していく。

学校教育課

1 学校運営にかかる指導・助言に関すること

(1) 校長会

教育長を中心に、緊急かつ重要な問題の協議及び通知通達の指導を行う。また、小・中・特別支援学校教頭会において連絡協議を行う。

校長会 12回実施（毎月）

教頭会 1回実施（4月）

(2) 資質向上事業

学校教育において、本市の実態に応じた実践を進めるため研修機会を提供し教職員の資質向上を図る。

研修等

研修・講座名	年間 実施回数	のべ 参加者数
学校園所連携推進に係る連絡会	1回	32名
国際理解教育担当者研修会	1回	31名
人権教育担当者研修会	1回	29名
教育相談担当者・スクールカウンセラー・子どものサポーター研修会	1回	37名
スクールソーシャルワーカー連絡協議会	2回	25名
スクールカウンセラー連絡会	1回	7名
教頭・生徒指導担当者等研修会	1回	35名

(3) 研修事業補助

ア 小学校

学年別人権研修会

イ 中学校

生徒指導研修

2 教育内容に関すること

(1) 三田市あすなろ教室

不登校児童生徒に対する社会的自立のための支援

開設時間：午前9時～午後5時（月曜日～金曜日）

開設場所：三田市相生町26番15号

通所児童生徒数：40名

臨床心理士によるカウンセリングの実施 週2回（カウンセラー2名）

カウンセリング相談件数・相談者数161件・252名／年（延べ）

(2) スクールカウンセラー

児童生徒の問題行動等の解決に資するため、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する「スクールカウンセラー」を全中学校及び小学校9校、特別支援学校1校に配置。

スクールカウンセラー配置状況（県費、市費）：

年間15回（1日6時間）小学校1校、特別支援学校1校

年間20回（1日6時間）小学校1校

年間25回（1日6時間）小学校1校

年間30回（1日6時間）小学校1校

年間35回（1日6時間）中学校8校、小学校5校

スクールカウンセラーへの相談件数：5,037件／年（延べ）

スクールカウンセラーが講師となる研修会・講演会実施回数：79回／年

(3) トライやる・ウィーク推進事業

地域や自然の中で様々な体験活動を実施することにより、地域に学び、自分を見つめ、他人を思いやる心情を育てると共に、自律性を高め「生きる力」を育む。

実施校名	実施日	参加生徒数	事業所数
長坂中学校	6月5日～6月9日	36名	23カ所
上野台中学校	5月29日～6月2日	26名	17カ所
狭間中学校	5月29日～6月2日	123名	52カ所
八景中学校	6月5日～6月9日	170名	68カ所
けやき台中学校	5月29日～6月2日	173名	68カ所
富士中学校	6月5日～6月9日	74名	29カ所
藍中学校	5月29日～6月2日	52名	26カ所
ゆりのき台中学校	6月5日～6月9日	227名	77カ所
ひまわり特別支援学校	6月5日～6月9日	2名	2カ所

(4) コミュニティ・スクール推進事業

平成25年度から推進してきた三田型コミュニティ・スクールの成果を踏まえ、三田市教育委員会規則に基づいて全29校に学校運営協議会を設置し、法に基づくコミュニティ・スクールに移行した。

コミュニティ・スクールとは学校と家庭、地域とが学校教育目標や「めざす子ども像」等のビジョンを共有し、その実現に向けて共に協働していくための仕組みである。その推進のために教育委員会が任命する教員、保護者、地域住民等で構成される学校運営協議会を設置し、学校運営や必要な支援について熟議する場とする。この移行をきっかけとして、学校支援ボランティアをはじめ地域の多様な学校支援活動との一体的推進により活性化を図るきっかけとすることを目指す。

なお、令和4年度まで「開かれた学校づくり」を目的として実施してきた「学校元気アップ共育事業」を令和5年度から「コミュニティ・スクール推進事業」と統合し、予算の拡充を図った。

(5) 生徒指導対策事業

いじめ、不登校、問題行動等生徒指導上の課題を解決していくため、学校の組織体制づくり、研修等を実施する。また、スクールカウンセラーや福祉の視点でサポートするスクールソーシャルワーカー等の配置など、児童生徒や保護者の相談・支援体制をつくる。

ア 「三田市いじめ防止基本方針」及び各学校における「学校いじめ防止基本方針」の推進

イ 「三田市いじめ問題対策連絡協議会」及び「三田市いじめ問題対策ネットワーク会議」の開催

ウ 「いじめに関する生活アンケート」の実施（各学期1回）

エ 各学校の「生徒指導委員会」「学校いじめ対応チーム」による組織的な対応

オ 「学校問題サポートチーム（市教育委員会指導主事）」の派遣（いじめ問題に関する校内研修の実施）

(6) 中学校部活動の振興

生徒の健全育成を図るため、部活動を学校教育の一部と位置づけ振興する。
部活動振興補助、中学校体育連盟分担金、音楽連盟負担金

3 在日外国人学校就学補助金

三田市内に居住し、在日外国人学校の初級・中級学校に在籍する児童及び生徒の保護者の経済的負担を軽減し、教育の機会均等を図る。

区 分	児童生徒数	保護者への支給額
在日外国人学校就学補助金	0人	0円

4 附属機関等に関すること

(1) 三田市在住外国人教育推進委員会

「三田市在住外国人教育基本方針」の実施について検証し提言する。

(2) 三田市不登校等に関する支援の在り方検討委員会

不登校児童生徒の総合的な研究、検討ならびに直接的な指導の在り方等について研究を推進する。(2回開催)

ア 不登校児童生徒やその保護者に対し、支援団体や学びの場に関する情報提供について検討する。

イ フリースクール等の民間施設や、ICT等を活用した学校での学習支援など、多様な学びの支援方法について検討する。

(3) トライやる・ウィーク推進協議会

各構成団体の協力体制についての協議及び事業実施に向けての啓発協力依頼活動を行う。

(4) 三田市生徒指導等問題対策委員会

三田市で発生したいじめ・暴力行為を含む問題行動事案について検証するとともに、今後の三田市の生徒指導のあり方について協議する。(4回開催)

ア 生徒指導リーフレット「三田市のめざす生徒指導の進め方」に基づく生徒指導の在り方について検証、協議する。

イ いじめの重大事態の調査委員会について検討する。

(5) 三田市立学校結核対策委員会

学校における今後の結核対策について、児童生徒への感染防止対策、感染者及び発病者の早期発見、早期治療対策、患者発生時の対応等を図る。(1回開催)

5 学校保健に関すること

(単位：名)

検診名等	対象者等	実施人員	実施機関
就学時健康診断	小学1年生入学予定の幼児	885名	学校医
心臓検診	小・中・特別支援学校1年生 (心電図)	1875名	三田市医師会
心臓検診	二次検診	97名	指定の病院
内科検診 (脊柱検査含む)	小・中・特別支援学校児童生徒 全員	8773名	学校医
結核検診	小・中・特別支援学校児童生徒 全員(問診票)	8773名	学校医
	特別支援学校高等部1年生(エ ックス線撮影)	0名	指定の病院

	二次検診	2名	
歯科検診 (年2回)	小・中・特別支援学校児童生徒 全員	8773名	学校歯科医
尿検査	小・中・特別支援学校児童生徒 全員	8773名	検査機関
	二次検診	233名	
眼科検診	小・中・特別支援学校児童生徒 全員	8773名	学校医
耳鼻咽喉科検診	小・中・特別支援学校(小学 1・3・5年生、中学1年生、 高等部1年生)	3955名	学校医
整形外科検診	特別支援学校全員	16名	学校医

6 P T A 連合会に関すること

(1) すべての単位 P T A の代表者が集い、情報交換を行う「P T A 情報交換会(代表者会)」を年2回開催する。

(2) 参加人数等

ア 第1回・・・15名参加(15単位 P T A)

イ 第2回・・・20名参加(20単位 P T A)

7 市立学校児童・生徒数(令和6年3月31日現在)

(1) 小学校

(単位:名)

学 校 名	学級数	児 童 数		計
		男	女	
三田小学校	26	339	322	661
三輪小学校	16	188	201	389
志手原小学校	7	35	27	62
藍小学校	8	38	36	74
本庄小学校	6	21	23	44
広野小学校	10	106	108	214
小野小学校	6	16	19	35
高平小学校	7	51	49	100
母子小学校	3	10	4	14
武庫小学校	20	245	237	482
松が丘小学校	8	59	71	130
すずかけ台小学校	16	167	185	352
狭間小学校	10	119	96	215
富士小学校	14	159	130	289
あかしあ台小学校	22	297	241	538
弥生小学校	7	67	62	129
つつじが丘小学校	9	84	100	184
けやき台小学校	26	374	324	698
学園小学校	11	120	118	238
ゆりのき台小学校	39	563	561	1,124
計20校	271	3,058	2,914	5,972

(2) 中学校

(単位：名)

学 校 名	学級数	生 徒 数		計
		男	女	
長坂中学校	6	63	47	110
上野台中学校	6	43	47	90
狭間中学校	14	187	165	352
八景中学校	18	255	260	515
けやき台中学校	18	281	294	575
富士中学校	10	140	118	258
藍中学校	8	90	61	151
ゆりのき台中学校	24	389	350	739
計8校	104	1,448	1,342	2,790

(3) 特別支援学校

(単位：名)

学 校 名	学級数	児 童 生 徒 数		計	
		男	女		
ひまわり 特別支援学校	小学部	3	4	3	7
	中学部	2	3	2	5
	高等部	1	2	0	2
計1校	6	9	5	14	

教育支援課

1 特別支援教育の推進に関すること

LD・ADHD等発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する指導や支援体制づくり等、より一層の特別支援教育の充実を図る。

(1) 相談事業

ア 来所型教育相談（電話相談）（面接相談）（外部専門員相談）（療法士相談） 213件

イ 訪問型教育相談（巡回相談）（校内委員会訪問支援） 278件

ウ 就学相談 102件

(2) 教育支援事業

ア 特別支援アシスタント配置：4500時間

イ 学校生活支援教員配置：小学校拠点6校・巡回12校・中学校拠点3校・巡回4校

(3) 「心のバリアフリー」推進事業「特別支援学校自然体験活動」

小学部・中学部・高等部：7月13日～7月14日 於：しあわせの村
（児童生徒 計11名が参加）

(4) サポートファイル活用推進

計607名

(5) その他

特別支援教育推進にかかる学校訪問、コーディネーター等ネットワーク会議、教育相談支援チーム連絡会他

2 特別支援教育にかかる教職員の指導・助言に関すること

(1) 資質向上事業

特別支援教育に関して、本市の実態に応じた実践を進めるため研修機会を提供し、教職員の資質向上を図る。

ア 研修等

研修・講座名	年間実施回数	のべ参加者数
特別支援教育研修講座 基礎研修講座	2回	49名
特別支援教育研修講座 選択課題別研修講座	11回	178名
特別支援教育研修講座 授業・保育実践研修講座及び教育相談実地研修講座	2回	2名
特別支援教育研修講座 コーディネーター研修講座	3回	32名
特別支援教育研修講座 教育相談支援チーム巡回相談員研修	3回	35名
特別支援教育支援員研修会	4回	157名

(2) 研修事業補助

ア 小学校

特別支援教育研修会

イ 中学校

特別支援教育研究会

3 遠距離通学費補助

三田市立小学校及び中学校の児童生徒等について、通学が著しく困難である者に対して通学費を補助し、学校教育の円滑な運営と保護者負担の軽減を図る。

区 分		校数	人数	補助金額	備考
通学定期代	小学校	4校	102名	4,026,940円	
	中学校	2校	72名	9,118,800円	
通学用品費	小学校	4校	4名	19,020円	上限5,000円
	中学校	3校	48名	469,123円	上限10,000円
合 計		13校	226名	13,633,883円	

4 就学援助費及び就学奨励費

義務教育の円滑な実施を図るため、経済的な理由によって就学困難な児童及び生徒に対して、就学援助費を支給する。また、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援教育就学奨励費を支給する。

区 分		児童生徒数	保護者への支給額
就学援助費	小学校	421名	26,474,722円
	中学校	235名	23,441,482円
計		656名	49,916,204円

人数：3月末認定者数

区 分		児童生徒数	保護者への支給額
就学援助費 (入学準備金)	小学校	38名	2,054,280円
	中学校	65名	4,095,000円
計		103名	6,149,280円

区 分		児童生徒数	保護者への支給額
特別支援教育 就学奨励費	小学校	122名	4,153,693円
	中学校	53名	3,288,815円
計		175名	7,442,508円

5 高等学校等入学支援金

高等学校等への入学に伴う費用の一部を支給することにより、経済的理由のため就学が困難であると認められる者の自立と進学を促進するため、高等学校等入学支援金（給付型・返還不要）を支給する。

区 分	生徒数	保護者への支給額
高等学校等入学支援金	14名	884,800円

※ 三田市奨学金（貸付型・返還要）は平成29年度で貸付終了

6 特別支援学校児童生徒送迎業務

特別支援学校に通学する児童生徒を各乗降場所と学校間に公用車（ともだち号）を使用し送迎する。

- (1) 運行方法 委託業務（昭和61年度から）
- (2) 委託費 15,377,836円
- (3) 運行台数 4台
- (4) 乗車人員 10名

7 附属機関に関すること

(1) 教育支援委員会

心身に障害を有する児童生徒に対して、適正な就学指導を行う。（12回開催）

教育研修所

1 教職員の指導・助言に関すること

(1) 資質向上事業

学校教育において、本市の実態に応じた実践を進めるため研修機会を提供し教職員の資質向上を図る。

ア 研修等

研修・講座名	年間実施回数	のべ参加者数
初任者研修校外研修（設置者別研修）	3回	33名
教職員全体研修会	1回	650名
個人情報保護にかかる研修会	1回	674名
校園長・教育委員研修会	1回	37名
教頭研修会	1回	33名
主幹教諭研修会	1回	57名
教務主任研修会	1回	30名
2年次教員研修に係る共通研修	2回	30名
3年次教員研修に係る共通研修	1回	14名
臨時的任用教員研修会	1回	33名
拠点校指導員研修会及び連絡会	1回	4名
学校司書研修会	7回	70名
研究推進担当教員研修会	1回	32名
応急手当普及員受講者再講習	1回	25名
道徳教育研修会	1回	29名
「三田の英語教育」説明会及び研修会	3回	91名
小学校外国語教育推進リーダー研修会（小学校担当者会）	2回	59名
小学校英語専科教員研修会及び連絡会	2回	16名
ALT・小学校外国語活動サポーター研修会	2回	31名
情報教育研修会及び情報交換会	2回	72名
教育研究グループ・学校指導員説明会	1回	48名
学校指導員研修会	2回	22名
教育研究グループ研究交流会	1回	48名
学校経営いろは	10回	81名
夏季特別講座	8回	140名
授業づくり講座	11回	208名
ICT活用や情報モラル、ミライシード活用にかかる研修	通年	230名
自主研修講座 STEP	5回	32名
	総参加者数	2829名

イ 三田市立学校指導員派遣事業

指導員（小・特別支援学校）：11名 派遣回数：55回

(2) 指定研究の推進

テーマに基づいた研究の活性化を図るための指導・支援

ア 奨励・・・小学校7校、中学校8校 計15校

「『学びに向かう力』を高める学校をめざして」	藍小学校
「主体的・協働的に学ぶ、児童の育成」	本庄小学校
「主体的に学習に取り組み、自分の考えを表現できる子の育成」	小野小学校
「心豊かに、学ぶ楽しさを感じることができる学校地域をめざして」	高平小学校
「思考力・判断力・表現力の育成」	狭間小学校
「人と豊かに関わり、なりたい自分に向けて努力する児童の育成」	あかしあ台小学校
「ちがいを理解し、ともに支え合う仲間」	学園小学校
「自分の考えを相手に適切に伝える表現力の育成を目指して」	長坂中学校
「主体的・対話的で深い学びを意図した授業デザインに関する研究」	上野台中学校
「目標と指導の一体化を目指した教育活動の展開」	狭間中学校
「地域とともにある学校づくり」	八景中学校
「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善」	けやき台中学校
「特別支援教育の視点を活かした、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり」	富士中学校
「これからの同和教育」	藍中学校
「未来を創造し心豊かに『生きる力』を育む『情報』教育」	ゆりのき台中学校

イ 指定・・・小学校11校、特別支援学校1校

「豊かな人間性を育む道德教育の推進」	三田小学校
「プログラミング・ICTを活用した授業づくり」	志手原小学校
「読み深め 共に学び合う子どもたちの育成」	広野小学校
「自ら考え、共に高まりあえる子どもへ」	武庫小学校
「問いをつなぎ主体的に学ぶ子どもをめざして」	松が丘小学校
「伝え合い、高め合いながら、学ぶ力を身につけていく子をめざして」	すずかけ台小学校
「気づき合い、認め合い、つながり合おうとする子どもをめざして」	富士小学校
「地域や仲間と関わり合い、主体的に取り組む子ども」	弥生小学校
「“タイ”が生まれる楽しい授業」	つつじが丘小学校
「学びに向かう力を育てる」	けやき台小学校
「人とつながり、課題解決に向かう子どもをめざして」	ゆりのき台小学校
「一人一人の豊かな生活をめざした授業づくり」	ひまわり特別支援学校

ウ 特別指定・・・小学校2校、中学校0校

「豊かな心を育むための教育と保育の連携」	三輪小学校
「子どもの深い学びをめざしたつなぐ力の育成」	母子小学校

(3) 研修事業補助

ア 小学校

教員共同研究担当者会

イ 中学校

教科部会研究

2 教育内容に関すること

(1) 自然学校推進事業

様々な体験活動を通して、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に対する畏敬の念、感動する心、共に生きる心を育むなど、「生きる力」を育成することを目的とする。

実施校名	実施日(4泊5日)	実施場所
三田小学校	9/11 ~ 9/15	国立淡路青少年交流の家 県立南但馬自然学校 県立奥猪名健康の郷 県立嬉野台生涯教育センター 神戸市立自然の家 三木ホースランドパーク 竹野子ども体験村 円山川公苑 他
三輪小学校	9/ 4 ~ 9/ 8	
志手原・小野・母子小学校	7/ 3 ~ 7/ 7	
藍小学校	11/ 6 ~ 11/10	
本庄小学校	7/ 2 ~ 7/ 6	
広野小学校	7/ 3 ~ 7/ 7	
高平小学校	6/29 ~ 7/ 3	
武庫小学校	11/ 4 ~ 11/ 8	
松が丘小学校	7/10 ~ 7/14	
すずかけ台小学校	7/14 ~ 7/18	
狭間小学校	9/ 4 ~ 9/ 8	
富士小学校	9/25 ~ 9/29	
あかしあ台小学校	9/18 ~ 9/22	
弥生小学校	7/ 4 ~ 7/ 8	
つつじが丘小学校	9/19 ~ 9/23	
けやき台小学校	6/ 5 ~ 6/ 9	
学園小学校	9/11 ~ 9/15	
ゆりのき台小学校	7/14 ~ 7/18	

(2) 英語教育推進事業

小中学校9年間、就学前から11年間を見通した「三田の英語教育」を進め、小学校外国語活動・外国語(英語)、中学校英語教育において外国人英語指導助手(A L T)等を起用するとともに、中学校3年生に外国人講師によるマンツーマンのオンライン英語授業を実施し、児童生徒のコミュニケーション能力の素地及び基礎を養う。

ア A L T (4名) 1回あたり勤務時間7.25時間

年間延べ日数748日

イ J E TプログラムA L T (2名) 1回あたり勤務時間7時間

年間延べ日数 406日

ウ 外国語活動サポーター(12名) 1日最大6時間まで

年間総配置時数 1,445時間

エ オンライン英語授業(年3回)

年間延べ実施回数 2,682回

(3) ICT教育推進事業

三田市立小・中・特別支援学校における情報教育の推進のため、学校のICT環境を整備する。

ア 全児童生徒、授業を行う教員にタブレット端末を配布し、活用した。端末破損に備え、三田市独自で任意加入のタブレット端末保険を準備した。

イ 中学校8校に指導者用デジタル教科書（英語、地理・歴史・公民、音楽、美術、技術家庭、保健体育）を整備し、小学校20校に英語の指導者用デジタル教科書を整備した。また、それらを教員用タブレット端末からも活用できるようにした。

ウ 授業や校務でのタブレット端末の活用方法について対面での研修に加えて、ビデオ会議ツールを活用したオンライン研修や、動画配信によるオンデマンド型の研修を行い、教員のICT機器の活用を推進した。

エ 総合学習アプリを活用した、個別最適な学び、協働的な学びを実現する新しいデジタルを活用した教育を推進した。

(4) 友好都市交流事業

友好都市である鳥羽市との交流を通じて互いの市の様子について理解を深めるとともに、友好の精神を育む。（母子小学校と神島小学校による交流）

※令和5年度は、オンラインによる授業交流及び地域伝統芸能交流を実施。

3 附属機関に関すること

(1) 三田市教科用図書選定委員会

三田市立の小学校・中学校及び特別支援学校小・中学部の教科用図書の採択に関する事務を行う。（2回開催）

学校給食課（学校給食センター）

1 主な事務事業

- (1) 学校給食用物資の購入計画及び契約
学校給食用物資納入業者を選定し、月毎又は学期毎に価格、サンプル、原材料配合表などを検討し物資を選定して売買契約を行う。
- (2) 学校給食の栄養管理及び献立の作成
栄養所要量と食品構成表に基づくバランスのとれた、魅力ある献立を作成する。
- (3) 学校給食用物資の発注及び検収
市内2給食センターにて物資を発注するとともに、納品された物資の品質、鮮度、品温等について検収し、衛生状況の確認を行う。
- (4) 副食の調理及び配送
各給食センターで副食を調理し、市立幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校及び兵庫県立特別支援学校 計39校園へ配送する。
- (5) 食器食缶等の洗浄消毒及び保管
食器食缶、調理器具等を衛生的に洗浄、消毒殺菌し保管する。
- (6) 学校給食における衛生管理
給食センターの衛生管理及び学校園における衛生管理指導を徹底する。
- (7) 学校給食に関する指導助言
学校園における給食指導、給食運営に関する指導助言を行う。
- (8) 学校給食費会計の経理
児童生徒、教職員からの給食費の収納と物資代金の支払いを行う。
- (9) 学校給食運営協議会
保護者及び学校長代表の委員9名以内で組織し、学校給食に関する重要事項の審議及び給食物資の選定を行う。協議会を年間2回程度、物資選定を11回開催する。
- (10) 給食センターの管理運営
給食センター施設及び設備の維持管理、運営を行う。

2 実施状況（令和5年5月1日現在）

- (1) 週5日間（うち、米飯給食週4回）完全給食を給食センターにおいて実施している。

区分	校園数 (校園)	給食数 (食)	年間規定 給食回数 (回)	1食当たり 給食費 (円)	月額 給食費 (円)
小学校 (ひまわり特別支援学校小学部含む)	21	※ 6,700	180	238	3,900
中学校 (ひまわり特別支援学校中学部・高等部含む)	9	3,047	180	275	4,500
幼稚園	9	263	140	210	2,940
兵庫県立上野ヶ原特別支援学校	1	110	180	275	4,500
計	※ 39	10,120			

※ ひまわり特別支援学校は1校として計上する

※ 小学校食数には、給食センター食数を含む（校園数には含まない）

3 給食調理施設（令和5年5月1日現在）

センター名	面積（㎡）		構造	調理能力	給食開始	備考
	敷地	建物				
ゆりのき台 給食センター	10,660.40	1,667.00	鉄筋 コンクリート	8,000食 （日）	H2.9	
清水山 給食センター	6,510.00	1,328.00	鉄筋 コンクリート	4,000食 （日）	H5.9	

4 給食配送校（令和5年5月1日現在）

センター名	区分	学 校 ・ 園
清水山 給食センター 17校園	小学校	三田・三輪・志手原・小野・高平・母子・松が丘
	中学校	上野台・八景・けやき台
	幼稚園	三田・三輪・志手原・小野・松が丘・高平
	県立特別支援学校	上野ヶ原
ゆりのき台 給食センター 22校園	小学校	藍・本庄・広野・武庫・すずかけ台・狭間・富士・あかしあ台・弥生・つつじが丘・けやき台・学園・ゆりのき台
	中学校	長坂・狭間・富士・藍・ゆりのき台
	幼稚園	広野・本庄・藍
	特別支援学校	ひまわり

5 令和5年度 “食べチャオさんだ！” 食育推進事業

子どもたちに食事の大切さ、喜び、楽しさを知らせ、心身の成長や健康の保持増進を図るとともに、食に関する正しい知識と望ましい食習慣の形成につなげるよう、学校・家庭・地域と連携しながら、三田市の食育を推進。

	事業項目	目的	実施内容
学校給食	1 給食時間の指導 (こんしゅうのこんだて)	給食を「生きた教材」として活用し、望ましい食習慣を身に付けるとともに食について興味関心を持たせる。	給食センター発行の資料「こんしゅうのこんだて」を提供し、給食時間に活用する。二次元コードを利用し、当日の献立や調理中の様子を動画で紹介。市立幼小中学校園の各クラス対象年間180回以上。

	2	卒業おめでとう給食選挙 (給食アンケート)		<p>中学3年生を対象に給食アンケートを実施し、中3リクエスト献立の提供及び給食だよりにアンケート結果及び給食の思い出を紹介 (アンケート期間) 令和5年11月8日(水)～11月17日(金) (回答方法) 二次元コードを用いたアンケートフォームから回答 (有効回答数) 532件 (実施内容) リクエストの多かった主食9品、副菜14品を2月、3月に中3リクエスト献立として提供。3月の献立表にアンケートの結果発表及び回答のあった給食の思い出を一部紹介。</p>
	3	学校・園で育てた野菜の提供	<p>学校・園の菜園で育てた野菜を給食に取り入れ、収穫の喜びやおいしさを共に味わい感謝の心を育てる。</p>	<p>6月 : 玉ねぎ (新玉と新じゃがの旨煮、ワンタンスープ、みそ汁、オニオンスープ) 7月 : 玉ねぎ (夏野菜のカレー) じゃがいも (みそ汁) 9月 : にんにく (チキンカレー) じゃがいも (ビーンズサラダ) 1月 : 黒大豆 (黒豆ごはん)</p>
募集	4	絵手紙コンクール (11年目)	<p>自然豊かな三田の食材を味わう喜びや楽しさと生産者への感謝の気持ちを絵と言葉で伝える絵手紙を募集し、食育推進事業に活用する。</p>	<p>(応募) 1,894作品 (幼75、小1,333、中486) (審査) 令和5年10月6日(金) (入賞) 優秀賞3点 優秀賞5点 入選6点 佳作7点 特別賞4点 ※作品展示にて全作品を展示 ※給食だよりにて入賞作品紹介</p>
	5	給食センター探検隊	<p>三田の学校給食への関心を高める。体験を通して給食センターの職員と児童生徒、保護者とのコミュニケーションを図り、食の大切さを学ぶ。</p>	<p>(開催日) 令和5年7月21日(金) (開催場所) ゆりのき台給食センター (内容) センターの見学・給食試食 (参加人数) 15組33名の親子 (メニュー) 三田夏野菜カレー 豆腐入り焼きハンバーグ 三田ポークときゅうりのマリネ サーターアンダギー(乳卵入り)</p>
食育啓発	6	食育に関する作品展示	<p>三田の学校給食の魅力や食育の大切さについて、広く市民に啓発する。</p>	<p>(開催日) 令和6年1月24日(水)～2月6日(火) (開催場所) ウッディタウン市民センター (内容) 学校・園の食育活動及び園児児童生徒の作品、絵手紙コンクール応募作品の展示、三田の学校給食「今・昔」(給食レプリカ、パネル展示)</p>
	7	三田の食育・学校給食展 (10年目)	<p>三田の学校給食と食育について理解を深め、興味関心を高めるために開催する。</p>	